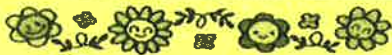


第2号 平成31年3月

出雲更生保護女性会だより



浜田へ研修視察

島根あさひ社会復帰促進センターと盲導犬訓練センター

10月12日 前日までの雨模様が嘘のように、秋晴れの元 私たち出雲更生保護女性会出席者44名は、島根あさひ社会復帰促進センターと日本盲導犬協会島根あさひ訓練センターに向けて9時過ぎに出発しました。

車中では、園山会長のあいさつ、事務局からの連絡事項の後、先日の「社会を明るくする運動」の時に講師で来ておられた五島つばきさんの「ひまわりの歌」をみんなで合唱しました。とてもうたいやすくメロディもなじみやすく、初めて聞いた人もたくさんおられました、すぐに口ずさむ



〈盲導犬訓練センター〉

ことができ、マイクを向けられた人の美声がバスの中を響きわたっていました。会員同士いろいろ話がつきない中、あっという間にゆうひパーク浜田和食レストランに到着しました。素晴らしい日本海の雄大なロケーションを眺めながらのおいしいお食事は最高でした。全員で記念撮影後、いよいよ研修先へ出発！訓練センターと促進センターとに別れて研修しました。研修後のバスの中で、それぞれが感想を簡単に発表しあいました。

最後にお楽しみサンピコ江津に到着、皆さん一生懸命、急ぎ足で買い物をしておられました。無事、定刻に帰着、皆さん疲れた様子も見せず、帰宅の途に就かれホットしました。お疲れさまでした。

〈副会長 山代恵子〉



〈全員で記念撮影 いい顔！〉

盲導犬あさひ訓練センター

私たち 13 名は訓練センターを視察しました。この協会は、「視覚障害者へ安全で快適な盲導犬との歩行を提供する」という使命を掲げて活動が続けられています。また、訓練生(受刑者)の社会復帰のための協力として、子犬(生後2ヶ月から1才まで)を飼育されています。そのうちの何頭かは、盲導犬を目指して訓練センターで訓練されています。私たちも訓練士さんの指導の下、実際に手引き歩行の仕方を実践させてもらい、視覚障害者にとっては盲導犬の重要な使命を実感させていただきました。

〈稗原理事 名原克枝〉

あさひ社会復帰促進センター

一歩踏み入れた建物、それは今までの刑務所というイメージを払拭するものでした。全国各地から定員 2000 人に対し、現在は減ったとはいえ 1280 人の受刑者が受け入れられていました。ハイテクが駆使され、自動で運ばれる食事、タグが各人に付けられ独歩の可能な環境、自由が制限されているとはいえ明るい居室等、百聞は一見にしかずでした。矯正施設に入らざるを得なかった人に心を寄せ、再犯が開所以来この十年を経、平均すると約 20% と聞き、社会復帰してからの環境を整え、支えてあげることこそ必要であると今更ながら更女の一員として活動する糧となりました。

〈高松理事 打田美喜子〉

愛の図書募金活動お疲れさまでした！

2,380,877円 募金集まる

150万円分の図書カードを寄贈

出雲市内 小学校14校 36万円、
中学校7校・養護学校1校 20万円、
幼稚園17園 32万円、
保育園(所)32園 62万円



〈乙立小学校へ図書カード贈呈〉

しらふじ会費2万円・しらふじ寄付金1万円送金

島根県愛の図書 20万円・島根県愛の募
金 10万円送金

贈呈先

・松江刑務所・島根あさひ社会復帰センター・美保学園・松江少年鑑別所・わかたけ学園・中央児童相談所・出雲児童相談所・浜田児童相談所・益田児童相談所・更生保護法人しらふじ・島根県女性相談センター



〈松江地方合同庁舎にて贈呈式〉

各地区から集まった募金を、愛の図書として島根県更生保護女性連盟からそれぞれに手渡しされました。

日本盲導犬協会島根あさひ訓練センターに1万円寄付

総会の日程等のアンケート結果から

【日程と弁当について】

- ・総会を午前中に行って、弁当を食べて解散する 46人
- ・午前中に行い、弁当はなし 54人
- ・午後にして、弁当はなし 7人

上記のような数字でした。今までの総会では、募金集めの労をねぎらうことと、午後に趣味の会等の活動があったことから弁当が必要でした。アンケート上は、どちらでもよいという意見が多数あり、親睦を深めるのに会食するとよい。また、経費削減をし、本来の活動費に使用する方がよい。等… いろいろな意見から次年度は、午後の開催としました。13時から16時 12時30分受付 弁当はありません

【会費について】

- ・500円を維持する 59人
- ・1000円に値上げする 26人
- ・700円～800円に値上げする 21人

数字から見ると、現状維持が圧倒的に多い。弁当がなくなれば値上げの必要がない。年間を通してだから値上げでもよい。運営が困難になった時点で、値上げをする。今は値上げをしない。現状維持！500円

新年会の様子から

1月25日神苑において、受賞者6名、顧問さんと理事さんで21名の出席でした。はじめに会長から「子どもの健やかな成長のために本を読むことが大切であり、読書が人の心を育てる」という話がありました。続いて、記念品の贈呈があり、受賞者を



代表して、加藤澄子様から謝辞がありました。懇親会の折に、土江様から川跡地区の紙芝居を使った活動状況がユーモラスな言葉を交えて報告がありました。また、金築様より「愛の図書の贈呈が受刑者の立ち直りの一助となって喜ばれている」という話があり、改めて愛の図書募金運動の大切なことを感じました。お楽しみタイムはゲームで大いに笑い健康的なひと時を過ごし、最後に全員で記念撮影をして閉会しました。〈長浜理事 森脇 絹代〉

受賞された11人の皆さま
おめでとうございます！

日本更生保護女性連盟会長表彰 加藤澄子様
中国地方更生保護委員会委員長感謝状 柘植悦子様
中国地方更生保護女性連盟会長表彰 土江道子様
松江保護観察所長感謝状 浅津美保子様 奈島芳江様
宮岡あけみ様 川島節恵様 園山久美子様 宮本陽子様
岩崎志津江様 馬庭俣子様

～新年会に参加して～ 平成最後の新年会に30年度受賞者として出席しました。6月に東京で行われた表彰式に参加し、更生保護活動に情熱をささげておられる会員の方々が熱気あふれる会でした。受賞することができましたのは、会員の皆さまが日々努力を重ねておられる故と感謝あるのみです。

毎日、ニュースで悲しい事件を報道しています。とても心が痛みます。私達が更女の活動を通して明るい社会になるよう貢献できたならと思うところです。楽しい会をありがとうございました。
〈加藤澄子〉

～表彰式に参加して～ この度表彰をいただき昨年11月に松江記念福祉センターでの表彰式に参加しました。感激は人塩でしたが、これも協力や支えていただいた皆様があってのものだと感謝いたしております。また、先日の新年会招待していただき、記念品等を賜り重ね重ねのご配慮、うれしく思いました。会の終わりにはアトラクションも計画されており楽しい一刻でした。
〈土江道子〉

～子どもへの愛を～ 「先生どうにかできませんか。」と千葉県栗原心愛さんの残されたメッセージに悲しみと義憤で全身が凍り付きました。こんな日本でよいのでしょうか。私は更女に20年間携わり、募金活動を中心に幼稚園や保育園での紙芝居や地域活動等に取り組んでいます。図書券進呈には園児の輝く瞳に喜びを感じ、「ありがとう」の言葉に感動しています。昨年は感謝状をいただき、今後より良い社会のために一層活動に励みたいと思います。
〈浅津美保子〉

